

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	06-02	所管部	農政部	作成責任者	農村振興局農地整備課長 榎 研一
				担当係	水田整備係（内）27-568

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道営土地改良事業費（農地整備事業（経営体育成型））							
ふりがな 地区名	ふたまただいに 二股第2南	市町村名	羽幌町	総事業費	3,564 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	32.5%	市町村	-	その他	12.5%
		1,960 百万円		1,158 百万円		- 百万円		446 百万円

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●良質米の安定生産及び転作作物の生産性向上を図る。 ●農作業効率の向上及び水管理の合理化により労働時間の縮減を図る。 ●換地により農地や農業施設の再編整理を図る。 ●担い手への農地集積を図る。 ●安全・安心な食の生産をささえる。
---------	--

【アウトカム】等
●事業実施前（H30年（2018年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は91.7%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には100%と上昇が見込まれる。

事業概要	羽幌町の南東に位置し、羽幌川左岸に広がる本地区においては、良質米を生産するため安定した用水の供給や適切な深きかんがい等の水管理に対応できる用水施設の整備を行う。また、現況40a程度の区画を1ha程度の規模へ大区画化し、併せて排水改良のために暗渠排水や排水路の改修など総合整備を行う。	工事費内訳	受益面積	147ha → 149ha	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			受益戸数	22戸 → 18戸	前回評価	今回評価	増減額
			○用水路	14,832m → 14,219m	1,613	2,158	545
			○排水路	85m → 335m	11	47	36
			○区画整理	47ha → 65ha (整地、暗渠排水、用水路、排水路、耕作道)	463	819	356
			○測量試験費		359	496	137
			○用地補償費		8	15	7
			○換地費		16	29	13
			計		2,470	3,564	1,094

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進

特定分野別計画等での位置づけ	<p>施策目標・方針</p> <p>【計画名：第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】（生産基盤の強化）スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。</p>
	<p>関連する指標</p> <p>食料自給率（カロリーベース） 令和12年度 目標値：268%</p>

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b) / (a)
							2,470	803			
			R5 (2023)	R9 (2027)	4		3,564	1,158	179	960	27%

変更理由・内容（概要）	(1) 現地軟弱土に起因する工法変更による増額 (2) 新たな換地区域の設定に伴う用水路の線形変更による減額 (3) 排水路老朽化による事業量の追加による増額 (4) 農地流動化に伴うほ場追加による増額 (5) 自然増による増額
-------------	--

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	本地区は、現況区画や用排水路等が整備された道営ほ場整備事業（昭和47年～昭和55年）から40年以上が経過しており、一部の用水路は土地改良区や道営担い手育成基盤整備事業によって補修整備されてはいるものの、既に耐用年数を超えている施設が点在し、老朽化による不等沈下や漏水が著しく、安定した用水供給が困難な状況である。また、排水不良土壌であり、効率的な水田の汎用化の妨げになっている。加えて、小区画で不整形なほ場であり、作業効率が悪く、担い手への農地集積の支障となっていることから、基盤を整備することによって農業生産の体質強化を図るため、平成28年（2016年）にオロロン土地改良区から事業採択に向けた要望が出された。										
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H28年（2016年）7月 オロロン土地改良区から留萌振興局へ整備要望 ●H29年（2017年）4月 振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ●H30年（2018年）10月 土地改良法に基づき事業申請 ●H31年（2019年）3月 事業採択 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	●羽幌町 受益面積147ha→149ha、受益戸数22戸→18戸										
4. 関連する事業	<table border="1"> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費（百万円）</th> <th>事業内容</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容					
事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容							

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画													
	施工(工種)区分	工事内容	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	進捗状況	事業費(百万円)	
	用水路	L=14,219m			L=4,078m			*	L=10,141m			18%	2158	
	排水路	L=335m					L=7m		L=328m			23%	47	
	区画整理	A=65ha			A=18ha			*	A=47ha			24%	819	
	測量試験費	調査・設計			実施設計・施工管理等			*	施工管理等			70%	496	
	用地費及補償費	用地買収・物件補償			用地買収・電柱及び水道移			*	用地買収・電柱及び水道移			24%	15	
	換地費	換地処理			換地身案作成	*	一時利用用地指定		追加換地身案作成及び一時利用用地指定・獲得処分			14%	29	
(2) 進捗状況														
●事業進捗は、今後の実施にあたって大きな支障となるような案件はなく、特に問題はない。														
<table border="1"> <tr> <td>b</td> <td>a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</td> </tr> </table>													b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。
b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。													

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省R4改正)に基づき算出。 ・効果は、「事業ありせば」「事業なかりせば」の比較による作物生産の増減、作物品質の向上、営農経費及び維持管理費の削減ほか、災害(洪水等)の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される効果、国産農産物の安定供給に対する「安心感」を貨幣換算により算出。 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR5年度に現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用排水施設(区画整理内用排水含む)と接続する上位用排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 ・維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計より、マイナスとなる。
	作物生産効果	1,719	農業用排水施設	2,415	
	品質向上効果	931	区画整理	1,006	
	営農経費削減効果	1,966	関連施設	400	
	維持管理費削減効果	△ 175			
災害防止効果	9				
国産農産物安定供給効果	215				
	合計(B)	4,665	合計(C)	3,821	
	B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【事前評価】 前回算定時B/C: 1.15(合計(B): 3,049 合計(C): 2,646)			
	R5 現在	変更理由: ・営農経費削減効果算定時の用水なかりせばシナリオの変更による総便益の増加 ・事業費増加に伴う総費用の増加 ・諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更			
	1.22				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	整地工における突均し工法の採用。	20

V 評価

1. 必要性	●本地区は、前歴事業としてはほ場整備事業により整備が行われているものの、既に耐用年数を超過している施設が点在し、老朽化により用水供給の妨げになっている。加えて、小区画で不整形なほ場であり、作業効率が悪く、担い手への農地集積の支障となっていることから、基盤を整備することによって農業生産の体質強化を図るものである。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。				
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。			
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題				
	●本地区は、羽幌町が作成した田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域に位置付けられている。 ●下流河川の生態系への配慮のため、雨天時の施工中止など、濁水が発生しないよう施工を行っている。				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向				
3. 事業達成の見込み	●事業着手以降毎年、事業促進期成会を通じて早期完成に向けた要望が行われている。				
	(3) その他の課題				
	●特になし				
4. 対処方針	●今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はなく、予定年度内での事業達成が見込まれる。				
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。			
4. 対処方針	●事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和9年度の完成を目指して事業を継続する。				
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止			
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無

VI 備考

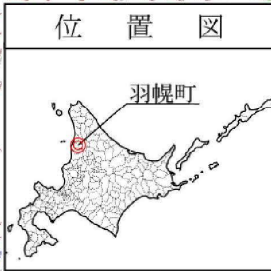
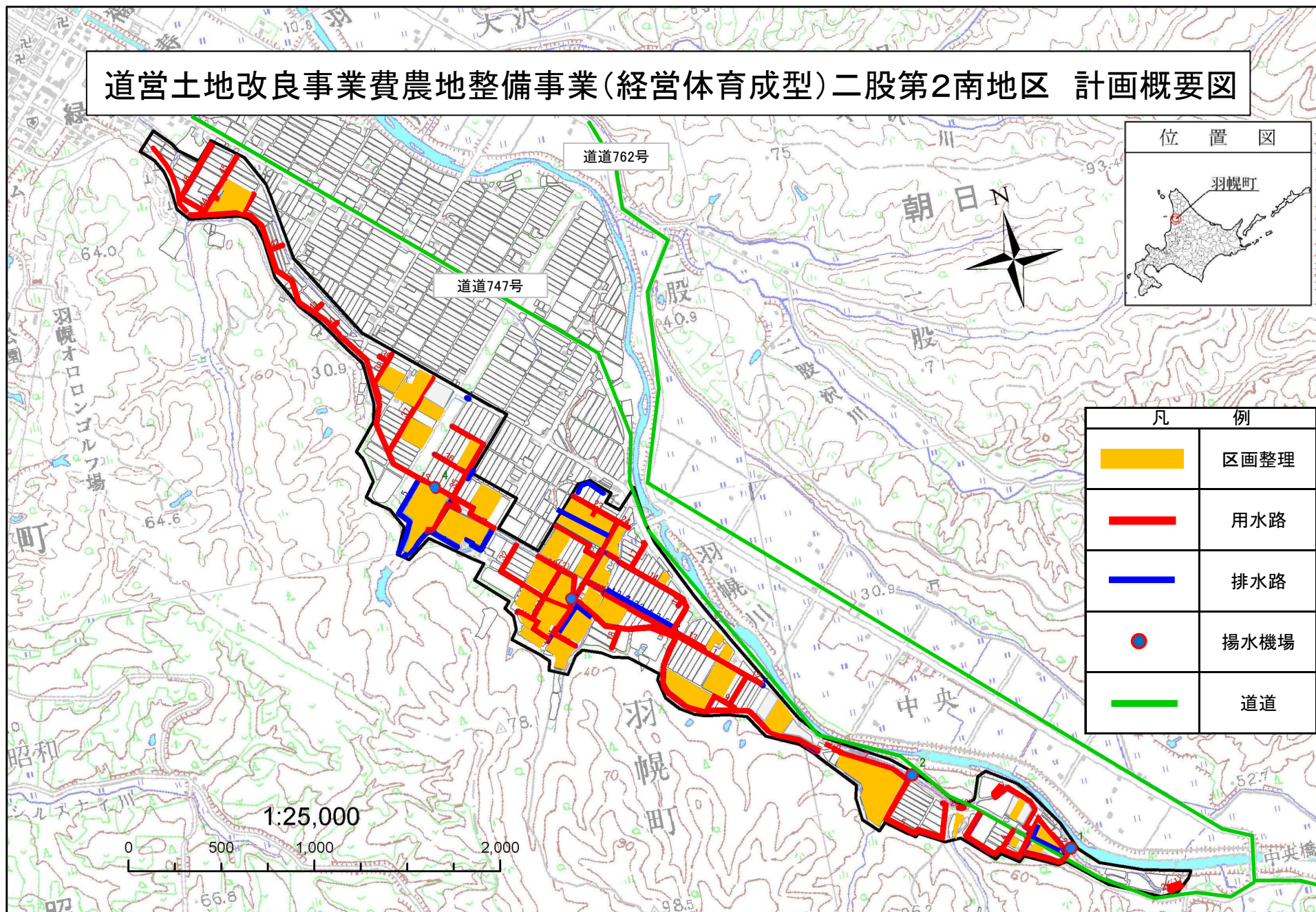
1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成29（2017）年度評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C=1.15 再評価：該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

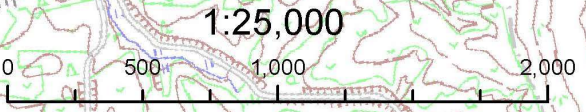
VII 事業計画変更

事業経過							経過年数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H31 (2019)	H31 (2019)	H29 (2017)		H39 (2027)	4	2,470			
変更①		H31 (2019)	H31 (2019)		H30 (2018)	H39 (2027)		2,520			
変更②	1 回目			R5 (2023)	R3 (2021)	R9 (2027)		3,564	179	960	27%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：事業内容・総事業費の変更（事前評価後から事業採択までの変更） ・道路及び河川協議の結果、工法及び仮設が変更となったことによる事業費の増 変更②：事業内容・総事業費の変更 ・用水路について、軟弱地盤が分布していることが判明し、基礎処理工を追加したことによる事業費の増 ・用水路について、区画整理と一体的に整備するため工種を移行したことによる事業量・事業費の減 ・排水路について、詳細調査の結果、経年変化による損傷が判明したことから整備を追加することによる事業量・事業費の増 ・区画整理について、農地流動化により取得した農地を一体的に整備することによる事業量・事業費の増 ・資材、労務単価の上昇の変更による事業費の増										

道営土地改良事業費農地整備事業(経営体育成型)二股第2南地区 計画概要図



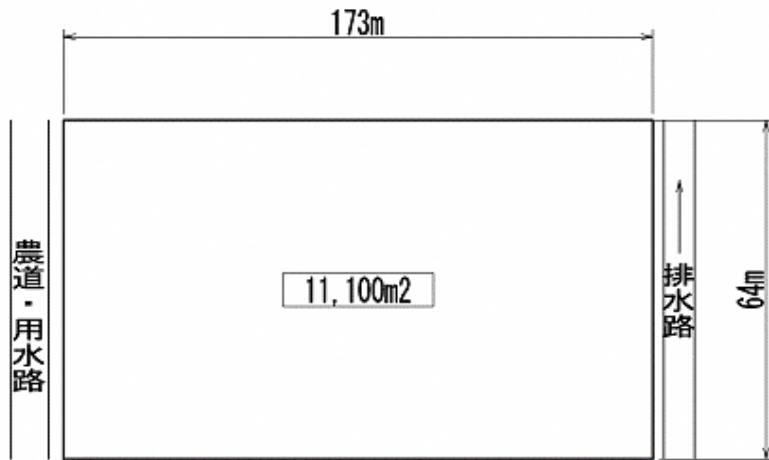
凡	例
	区画整理
	用水路
	排水路
	揚水機場
	道道



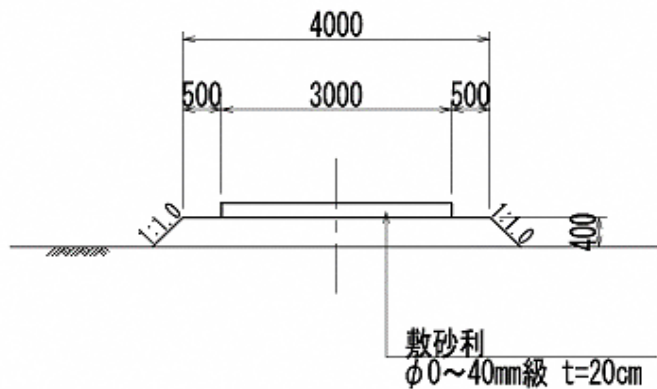
標準図構造図

区画整理工 標準図

標準区画

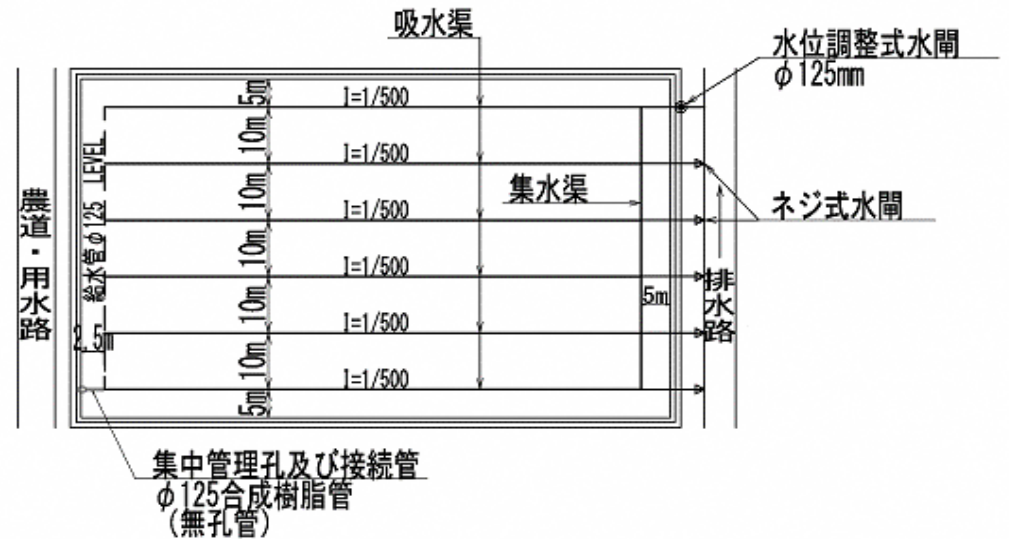


耕作道

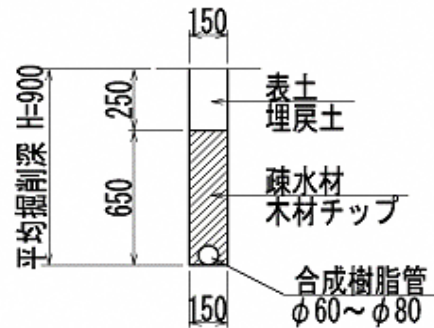


暗渠排水（田）標準図

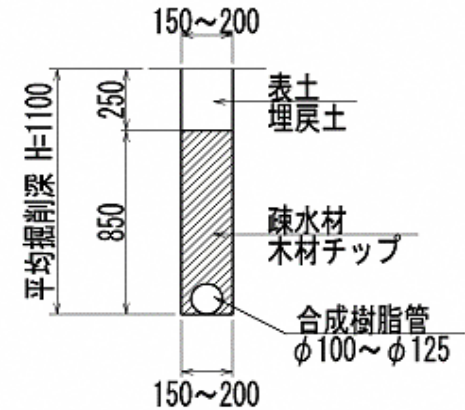
標準配線図



吸水渠

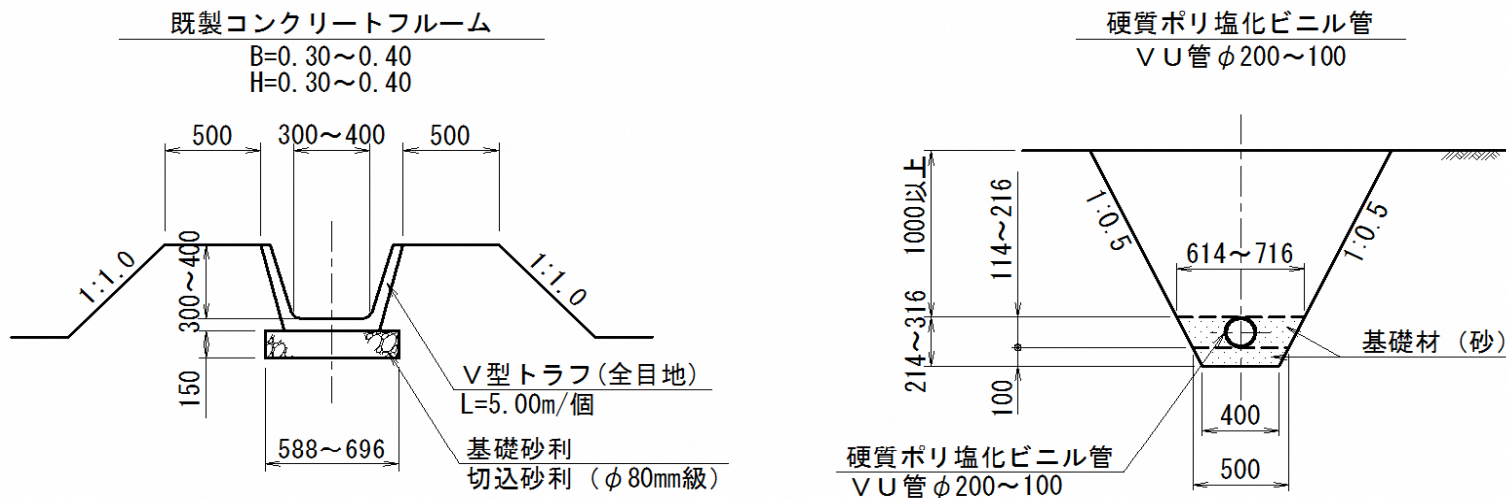


集水渠



標準図構造図

小用水路



小排水路

